

## IV ヒアリング調査結果

# 社会教育主事有資格教員の活動事例

## 1 学校で生かす

### 1- (1) 校務で生かす

★管理職の理解のもと、社会教育の講習で得た知識を生かし、現職教育のなかに「生涯学習研修」を位置づけると共に、ワークショップの技法等を集会などで活用している。

那須塩原市立戸田小学校 鯉沼 敏彦 教諭

#### 【活動の概要】

那須塩原市立戸田小学校では、「学校教育は生涯学習の一部」ととらえ、学校課題を設定し生涯学習の基礎を培う学習指導や、生涯学習の観点に立った教育活動の支援に努めている。加えて「子どもが学ぶ場は、学校だけではない。学校で学ぶのは、子どもだけではない。」という認識のもとに、学校だより、PTA新聞の地域全家庭への配布や、PTA研修などを通して地域全体で子どもを育てる重要性を訴えている。とりわけ、「学校・PTA共催の運動会」や「どんど焼き」などを開催して学校と地域との結びつきを強めている。

こうした中、戸田小学校で生涯学習係を担当している鯉沼教諭は、校長先生のアドバイスもあり、社会教育主事講習等で知り得た情報や知識を積極的に校務に生かしている。

社会教育の役割は「社会をよくする良識を広めること」と考え、現職教育に「生涯学習」や「人権教育」の研修を位置づけて、自らが講師役を務めることで、社会教育の知識や手法を分かりやすく同僚の先生方に紹介している。また、児童向けには自身が企画した「なかよし集会」で人権学習ワークショップを行ったり、保護者向けには、PTA学年部会で「夏休みに向けて」のワークショップを行うなど、数多くの実践を展開している。



なかよし集会でワークショップを指導する鯉沼教諭



ワークショップに参加する戸田小の児童

## 1 学校で生かす 1- (1) 校務で生かす 事例集 ①

- ★自然の家での活動プログラムの開発・活用（学校オリジナルを作成した）。  
（宇都宮市立昭和小学校 伊藤 雅幸 教諭）
- ★総合学習及び学社連携融合事業（旧町時代からの補助事業で今年度からふれあい学習推進事業）を実施するにあたり計画立案、調整役を担う。  
（下野市立吉田東小学校 橋本 俊明 教諭）
- ★夏休みに1泊2日で、6年生が学校に泊まり、自分たちで企画した様々な活動を楽しんだ。校内肝試し、電飾で飾られたプールでの夜間水泳、花火大会、おいしいカレーやカートンバッグづくりなど。子どもたちの思いをPTAが全面的にバックアップし実現するという大変魅力的な事業であり、参加者にとって忘れられない思い出となった。  
（栃木市立大宮北小学校 前原 美彦 教頭）
- ★①学校支援ボランティアの組織づくり ②校務分掌の指導部への位置づけ ③家庭教育学級の企画 ④運動会で地域の「みこし」を児童にかつがせる。 ⑤学校へ泊まろうサマーキャンプ  
（栃木市立栃木第三小学校 小松 光博 教頭）
- ★町生涯学習課主催行事「ふれあい健康ウォーク」と学校行事「ウォーキング遠足」とを融合し学社連携行事を実施した。  
（上河内町立上河内中学校 樽井 久 教諭）
- ★土曜学校開放行事「かげ絵・読み聞かせ会」「科学実験教室」「手づくりまんじゅう」など、校内の児童を対象に実施した。  
（さくら市立喜連川小学校 岡田 浩一 教諭）
- ★夏休み中（平日）に、親子で学ぼうという趣旨で希望者を募集し、算数パズル、歴史クイズ、簡単英会話を「マナビビト講座」と称して実施した。  
（大平町立大平東小学校 野村 幸男 教頭）
- ★①各教科との関連を図った年間計画の作成（教務主任の時）。②生涯学習に関する校内研修の実施（年1回、教務主任の時）。  
（大田原市立両郷中央小学校 屋代 知代子 教頭）
- ★「総合的な学習の時間」で、縦割り班に分かれ、芦野のいいところを再発見する全校校外学習を実施した。コース設定では那須歴史探訪館の館長さんのお世話になり、「芦野の里案内ボランティア遊覧会」の皆さんといっしょに歩き、のどかな田園風景と宿場町の雰囲気味わいながら史跡をめぐる歴史ウォークを展開することができた。  
（那須町立芦野小学校 蓮實 美恵子 教諭）
- ★校内研究推進主任として授業研究会に社教主事講習で得た手法を用い、一人一人の意見を引き出すことができた。  
（宇都宮市立富士見小学校 篠崎 玄房 教諭）

## 1 学校で生かす 1- (1) 校務で生かす 事例集 ②

- ★生活科で名人さんに教わろうの単元を構成した。打合せや人材集めが時間がかかり困難であった。公民館で児童向けの講座を開設してもらった。 (上三川町立上三川小学校 上野 清美 教諭)
  
- ★研究授業の研究協議をブレインストーミングで行った。全員が自分の意見を発表でき効果的だった。 (上三川町立明治南小学校 柴山 洋 教諭)
  
- ★学年の保護者会の時に、「生徒の興味関心、個性と学習習慣の在り方」について理解していただくために、「動物の名前、花の名前、女へんのつく文字」を漢字で書いてもらうワークショップを実施した。保護者の方も熱心に取り組むと共にこちらが伝えたかった内容についても深く理解していただけたように思える。 (日光市立三依中学校 森下 一男 教諭)
  
- ★期末PTAの全体会で、児童指導主任として長期休業についての話をする前に簡単なワークショップを行うと雰囲気が和み、話をよく聞いてくれた。また、児童の集会活動等においても、活用させてもらっている。 (塩谷町立船生東小学校 亀山 雅昭 教諭)
  
- ★人権教育、特別支援教育の校内研修でワークショップを実践したり、地域の公民館で1～3年生の子どもを対象に手話を使って歌をうたっている。 (佐野市立石塚小学校 片岡 祐子 教諭)
  
- ★ワークショップ形式の活動を総合的な学習の中で活用した。 (鹿沼市立北押原中学校 中田 英雄 教諭)
  
- ★ワークショップの手法を利用した授業 (学級活動)。 (真岡市立真岡東小学校 大島 芳治 教諭)
  
- ★研修中教えていただいたアイスブレイクを授業で活用した。 (真岡市立真岡小学校 小村 亙 教諭)
  
- ★土曜日に公民館主催の「ふれあい学習」に参加した。そこで行われていた「ネイチャーゲーム」を生活科の授業に取り入れ、行うことができた。専門的な立場の方の行う学習内容は、一教員として大変勉強になった。 (小山市立旭小学校 渡邊 紀子 教諭)